

8-2	あの「10万円」の効率性と公正さは？	所属 東洋大学文学部 氏名 栗原 久
資料名	総務省「特別定額給付金事業の概要」, https://www.soumu.go.jp/main_content/000715375.pdf 2021年8月25日取得)	
資料内容	<p>○ 施策の目的：「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」において、「人々が連帯して一致団結し、見えざる敵との闘いという国難を克服しなければならない」と示されたため…簡素な仕組みで迅速かつ的確に家計への支援を行う。</p> <p>○ 事業費：12兆8,802億93百万円</p> <p>○ 給付対象者及び受給権者： ・給付対象者は、基準日において住民基本台帳に記録されている者</p> <p>○ 給付額：給付対象者1人につき10万円</p>	
教科書等との関連	中学校公民的分野 社会保障の仕組み 高等学校公民科 社会保障の役割	
キーワード	コロナ 効率 公正 財政 社会保障	
ねらい	◆「社会保障の仕組み」で社会保険や公的扶助などの制度を学習した後に、新型コロナウイルス感染症が広まる中で行われた一人10万円（特別定額給付金）を給付する事業について、「効率と公正」の観点から評価し表現する。	
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	<p>発問</p> <p>2020年4月、コロナ感染症が拡大する中、政府は一人10万円の特別定額給付金を支給することを決めました。みなさんは、この10万円をどう使いましたか。</p> <p>先生は…ところで、この特別定額給付金、高額の所得を得ている起業家などにも支給されました。彼らが受け取るのも10万円、先生が受け取るのも10万円、同じ10万円ですが、10万円から得られる喜び（満足や効用）は同じでしょうか。同一の金額を一律平等に給付する施策を、「効率と公正」の観点から評価しましょう。</p> <p>低所得者には10万円を配り、高所得者には配らないという制度の場合、何が問題になりますか。この制度を、「効率と公正」の観点から評価しましょう。</p> <p>解説</p> <p>一般に、高額所得者が給付された10万円から得る満足と、今日の生活にも困っている低所得者が10万円から得る満足では、後者のほうが大きいと考えられます。そこで、もし限られた財政資金の中から定額の現金給付をするなら、給付金から得られる満足の大きい低所得者にだけに限定して配ったほうが、資金を効率的に使えるかもしれません。一方、この場合、高所得者からは、低所得者だけに現金給付するのは公正ではない、という批判が出るかもしれません。</p> <p>低所得者には10万円を配り、高所得者には配らないという制度の場合、低所得者と高所得者をどこで線引きするかという問題が生じます。これは、すべての人が満足する答えの見つけにくい問題です。給付金を受けるためには、その資格があることを証明する書類（課税（所得）証明書など）を準備する必要がありますが、これを用意するのも手間です。だったら、すべての人に一律10万円を配る制度のほうがスピーディ（効率的）で、公正（公平）かもしれません。</p>	